

## 4 わたしたちにできることってなんだろう

(3) ごみを出すことで排出される二酸化炭素を減らす取り組み

ア 「もったいない」をさがして、3つの R にチャレンジしよう

電気のつけっぱなしや水の流しっぱなし、まだ使える・食べられるものを捨ててしまう時など、資源がむだになることをした時に「もったいない」という言葉が使われます。「もったいない」という言葉を聞いたことがありますか。

「もったいない」には、3つの R、「リデュース(ごみを減らす)・リユース(くり返し使う)・リサイクル(再生利用する)」を進めることだけでなく、命の大切さや地球資源に対して感謝する心もこめられた言葉です。

地球温暖化ができるだけ進まないように、環境にやさしい行動をするためには、この「もったいない」を探し、「もったいない」を減らすために何ができるか3つの R を考える必要があります。

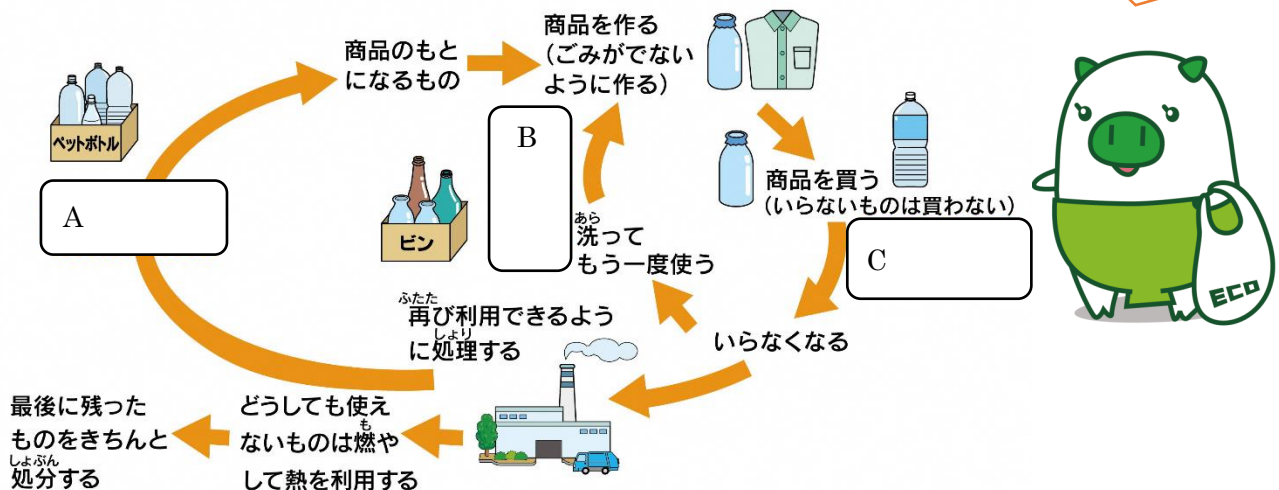


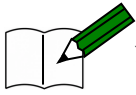
考えてみよう

3つの R とは、次の①～③の3つの行動のことです。下の  の A～C のどの部分に当てはまるか①～③から選んでみましょう。

- ① リデュース: 使う資源やごみの量を減らすこと
- ② リユース: ものをくり返し使うこと
- ③ リサイクル: 使い終わったものを資源として再び利用すること

「もったいない」を合言葉に、  
3 R にチャレンジしてみましょう。

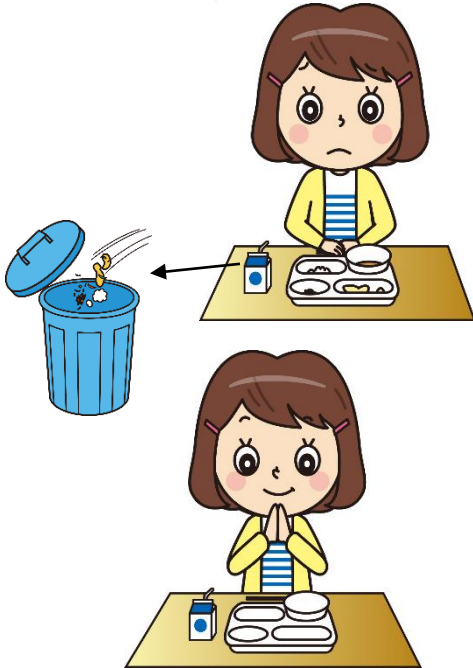




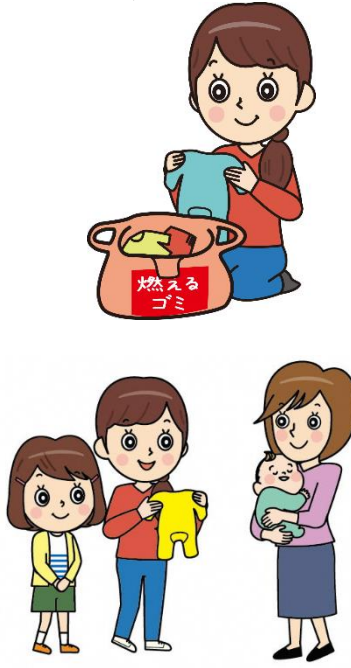
調べてみよう

次のイラストの上下を比較して、「もったいない」ところはどこか探してみよう。「もったいない」を探したら、それを減らすために何ができるか「3つの<sup>アール</sup>R」からできることを調べたり、考えたりしてみよう。

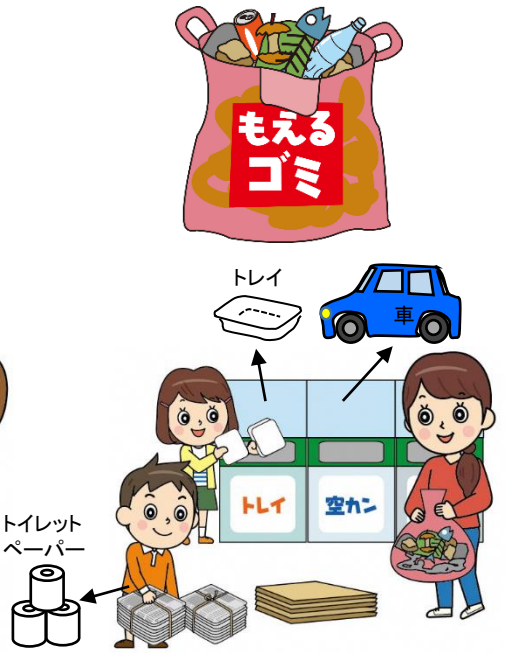
① リデュース



② リユース



③ リサイクル



	もったいない	<sup>アール</sup> 3つの R
①	..... .....	..... .....
②	..... .....	..... .....
③	..... .....	..... .....